

2019 (平成31年)

2月

わくわく事業の活動紹介

団体名	地域会議委員が活動現場を視察したときの様子
さなげ台愛護会	南山国際高校前から亀首歩道橋付近までの草刈りや枯草等の掃除を手際よく進めており、環境美化への熱意を感じました。
本徳町まちづくり委員会	少ない戸数の自治区でありながら、多くの方が協力して遊歩道整備に取り組んでおり、夢を持って活動されていることが素晴らしいと思いました。
乙部ヶ丘わくわく事業推進委員会	広い団地内の花壇整備や環境美化に取り組んでおり、皆さんの苦勞がしのばれるとともに、前向きな姿勢に感心しました。
乙部町まちづくり委員会	グラウンド・ゴルフ場の土砂流出を防ぐL型擁壁の設置作業を行っており、立派な出来栄に乙部町の皆さんの熱意を感じました。
舞木町まちづくり協議会	散策路に重機で碎石を入れて敷き均し作業を行っており、町民の皆さんは熱心に集落センター周辺を維持管理していると感じました。
和太鼓 鼓猿	代表者の指示のもと、真剣な表情でふれあいまつりに披露する曲を練習しており、充実した活動の様子が伝わってきました。

猿投地域では今年度、6団体わくわく事業に取り組まれました。どの団体もそれぞれの活動をとおして地域に貢献しています。各団体が1年かけて取り組んできた成果を、3月15日の発表会でぜひお聞きください。(発表会の詳細はおもて面の下部を参照)



猿投

さなげ



地域の課題解決
地域の元気を応援します。

解説 わくわく事業とは

地域の皆さんが地域課題の解決に取り組む活動に対して、豊田市が補助金を交付する仕組みです。活動をとおして地域が活性化し、まちづくりの担い手づくりにもつながります。

募集要項

豊田市役所猿投支所
猿投北交流館の2か所で配布

申請書類

上記2か所で配布するほか、豊田市ホームページから印刷することも可能

◎応募方法などは内側をご覧ください。

募集期間 3月4日(月) から 4月5日(金) まで

プレゼンテーション 5月12日(日) 午前9時30分～
猿投北交流館 多目的ホール

補助金限度額 100万円(1団体あたり)
※猿投地域全体の補助金合計額は500万円

補助率 原則 9割 以下
※特例で10割まで

今年度、わくわく事業に取り組んできた団体が1年の成果を発表!

わくわく事業 成果発表会

日時 3月15日(金) 午後7時から

場所 猿投北交流館 多目的ホール

これからわくわく事業を始めようと思っている方、成果発表会をぜひお聞きください。活動のヒントがきっと見つかります!

※発表会はどなたでもご参加いただけます。

ほかの地域の「成果発表会」開催日程

地域	上段/場所	下段/日程
井郷	猿投コミュニティセンター	大会議室 3月13日(水) 午後6時30分～
猿投台	猿投台交流館	多目的ホール 3月14日(木) 午後7時～
石野	石野交流館	多目的ホール 3月19日(火) 午後7時～
保見	保見交流館	多目的ホール 3月20日(金) 午後7時～

作り方

- ①顆粒昆布出汁で竹の子を煮て、出汁を煮含ませる(そのまま冷やす)
- ②猪肉をレンジで温め火を通す
- ③竹の子を取り出し、①の出汁でしいたけを戻す
- ④しいたけが柔らかくなったら細かく刻み、①の出汁で煮る(弱火約5分)
- ⑤沸騰したところでかつお節を入れ、さらに煮る(かつお節はこさない)
- ⑥グリーンピースと冷やご飯を⑤に入れ、ご飯がお好みの硬さになるまで煮る
- ⑦塩を入れ、火を止めた後に猪肉を入れて混ぜる
- ⑧竹の子を器にして⑦のご飯を盛り付ける

料理名	猪のリゾット ～器も食べてね～
猿投産の食材	猪肉、竹の子
材料	顆粒昆布出汁 大さじ1 水 200ml 節を残して筒切りした竹の子 猪肉(粗ミンチ) 干しいたけ1個 かつお節パック 5g グリーンピース 10個 冷やご飯 50g 塩ひとつまみ(分量外)



猿投地域予算提案事業として実施しました。

高齢者健康長寿サポート事業の取り組みのひとつ
高齢者の体に優しい献立を紹介

猿投地域予算提案事業として実施しました。なお、この取り組みは高齢者の体に優しい献立を紹介し、猿投の食材を使った

問合せ先 猿投地域会議事務局

豊田市役所地域振興部 猿投支所 地域振興担当 〒470-0373 豊田市四郷町東畑 70-1
電話 0565-45-1214 F A X 45-4824 電子メール sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp



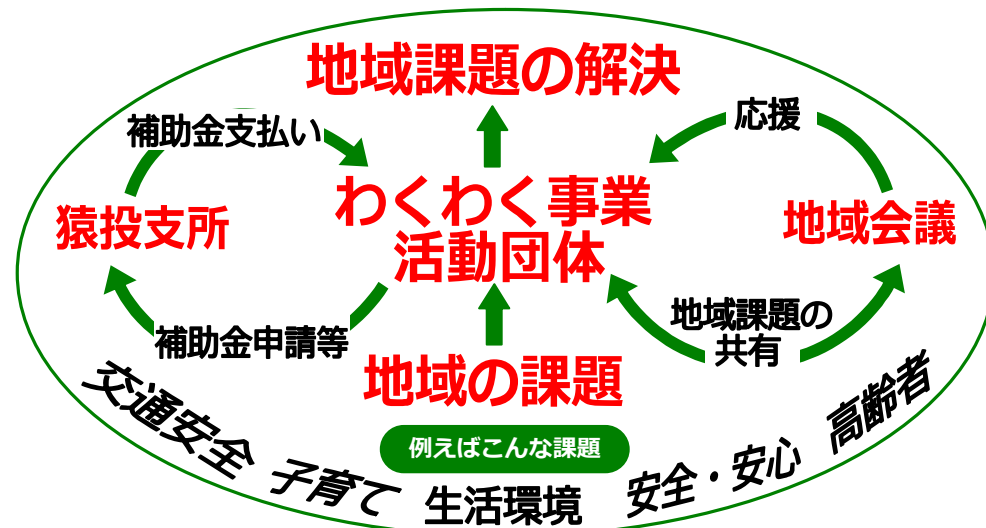
わくわく事業 申請ガイド

わくわく事業の応募資格と要件

- 5人以上で組織された自主的なグループや市民活動団体
- 活動が当該地域の多くの住民に支持されていると認められる団体
- 政治・宗教活動および営利活動を目的としない団体
- 暴力団でない団体、暴力団員が役員となっていない団体かつ暴力団または暴力団員と密接な関係を有しない団体

地域の課題だからこそ、地域で解決できることがあるはず。

まちづくりや伝統芸能の継承など、身近な課題が見つかったら、わくわく事業補助金を利用して、課題解決を！



わくわく事業の取組みに大切な4つの項目

■ **補助事業者**として要件を満たしていること
申請する団体は、多くの地域住民に支持されていると認められているかなど、要項に定められたすべての項目を満たしていますか。

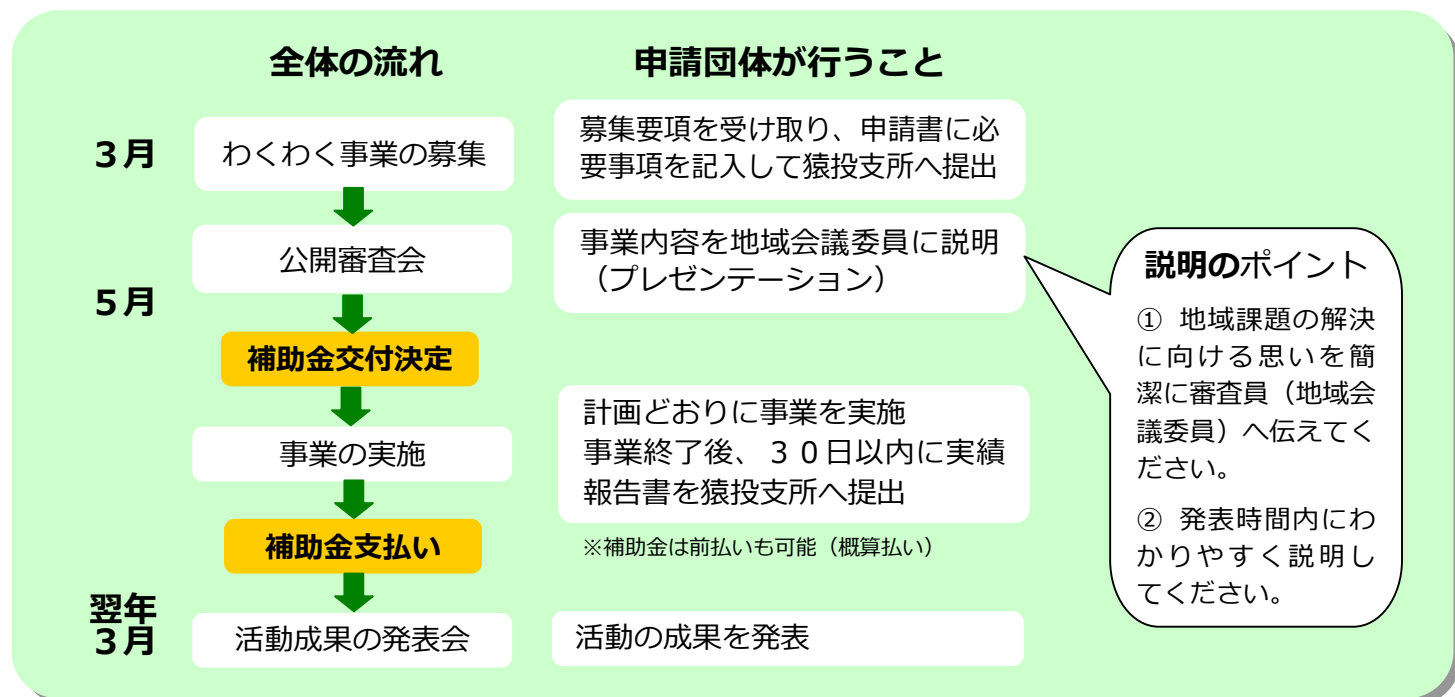
■ **公共性や公益性**のある事業であること
申請する事業は、地域の課題解決や活性化につながりますか。また、趣味的活動や特定の個人・団体の利益を目的にしていませんか。

■ **事業目的や内容**がわくわく事業の主旨にあっていること
申請する事業は安全・安心な地域づくりを推進する活動であるなど、要項で定められた8項目のうち、いずれかにあてはまっていますか。

■ **実現性や将来性**のある事業であること
申請する事業は、事業計画や実施体制が十分検討されていますか。また、地域活動の担い手の育成につながると期待できるものですか。

※要項は豊田市役所猿投支所、猿投北交流館、豊田市ホームページでご覧いただけます。

わくわく事業 1年の流れ



わくわく事業 応募の方法



身近なところから、地域の課題を見つける。

わくわく事業をとおして、こんな地域になったらいいな！と思える課題、地域住民だからこそできること、ありそうですね。



課題解決への思いを共にする仲間を、5人以上集める。

例えば、「子どもの安全を守りたい」などのように、「わたしもそれに困っている」という仲間を、5人以上集めます。



自分たちが取り組める活動を考える。

課題にはいくつもの原因があります。どの課題に絞り、どのような状態を目指すのか、そのために何をしようか考えましょう。



必要な費用について話し合い、予算を立てる。

何をしようかが決まったら、必要な費用を考えてください。課題解決のために効果のあがる予算を立てましょう。



申請書を作成し、応募する。

自分たちの思いが多くの人に伝わるよう、読みやすく、わかりやすい申請書を作りましょう。困ったときは、猿投支所へご相談ください。

申請書は、募集要項とともに猿投支所と猿投北交流館で配布しています。また、豊田市のホームページから印刷することもできます。

申請書の入手方法

■ **ご相談は猿投支所まで**
はじめに、わくわく事業に取り組まれる団体はもちろん、書類の作成等でお困りのときは、お気軽にご相談ください。